

浜通り地方の復興から地域創生への農林業支援プロジェクト 2022年度補助事業の実績・成果



連携市町村：相馬市（2018年12月20日連携協定締結）
現地拠点：福島県相馬市塚ノ町

事業の ポイント

- 8年間の「東京農大東日本プロジェクト」の実績を活用した支援事業
- 技術系+経営系という車の両輪で駆動させる幅広い課題解決
- 行政・NPO・農協・森林組合・農業法人・個人などの幅広いネットワークの活用

技術系+経営系の6分野における研究活動の成果

- ①森林環境回復
間伐後のスギ林、ヒノキ林の植生を調査し、間伐による自然散布樹木の導入効果による多様な樹種の発生が確認された
- ②森林・農地境界の環境回復
農業用ドローンを導入し、圃場に合わせた可変施肥の散布試験による効率的な農地管理の実証を行った
- ③地域資源での農地の環境回復
乾燥汚泥と生ごみ堆肥を混合した混合肥料を用いて調査した結果、窒素の肥効は緩やかになり、リン酸の肥効は向上する
- ④農村空間の環境回復
コバネイナゴに含まれる放射性物質濃度を測定し、空間線量率の間に正の相関があることを明らかにした
- ⑤野生動物の環境回復
阿武隈山系から太平洋までの丘陵帯4か所にカメラを設置し、中大型哺乳類の活動パターンを明らかにした
- ⑥マーケティング活動支援
「浜の駅 松川浦」での調査結果から、リピーターは相馬に震災や復興のイメージを持っていることが明らかになった

児童・生徒と農業者への教育・人材育成活動の実績

①食と農の体験スクールの実施

相馬市立飯豊小学校の3年生を対象として大豆をテーマとした3回の体験学習を開催。学生とともに、播種から収穫、エダマメの調理を行った



②農学サマースクールの実施

5つの講座のうち1つを高校生が選択し、2日間にわたる学生と教員とのフィールドワークを相馬市と南相馬市で行い、全員が集合しての成果発表会を開催した



③農業経営人材の育成

農業者と学生がともに経営をより進展させることを目的とした、農業経営と6次産業化を題材とした2日間のセミナーを相馬市で開催した

